

新潟市新津「育ちの森」

平成 25 年度事業報告

特定非営利活動法人ヒューマン・エイド 22

1 交 流 事 業

1. あそびの広場(対象：未就園の子どもとその保護者)

利用者と職員、および利用者相互の交流の広場と位置づけている。保護者と子どもが楽しく安全に遊べる場になるよう、採光、換気、衛生に配慮し子どもの年齢に合った遊具を備え付けている。職員が毎日午前午後、手遊びやふれあい遊びを一緒に楽しむ「スポットタイム」を設けている。また、季節行事にあわせた内容のイベントを企画し、地域の祭りや、子どもの日、七夕等日本古来の風習に親しむ機会を設けている。ハロウィン、クリスマス等子どもも大人も楽しめるイベントも実施している。

一人で来館している利用者に声をかけ、孤立させないように配慮している。様々な世代の方との交流をはかれるようロビーにお茶を用意し、子どもを見ながらもくつろげる雰囲気作りをしている。安全面を考慮し、週 3 回午前・2 回午後 1 回、ベビー専用(1 歳 7 カ月まで)の日を設定している。

- (1)開館日時 ・日、祝日、年末年始、土曜午後、館内メンテナンスを除く毎日
午前の部 9:00～12:00
午後の部 13:00～16:00

- (2)場 所 ・プレイルーム
・サークルルーム 1 (部屋の貸出の無い場合 木製レール)
・サークルルーム 2 (部屋の貸出の無い場合 ドールハウス、ブロック)
・図書コーナー

- (3)利用者数 ・利用者数……延べ 18,493 人

- (4)チケット売上 ・チケット売り上げ数……19 枚

【表A】開放区分

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 午前 | ベビー | フリー | ベビー | フリー | フリー | フリー |
| 午後 | フリー 予約相談日 | フリー | フリー | ベビー | フリー | 休み |

季節のイベント開催

| | | | |
|-----------------|------------------------|------------------|------------------------|
| 4月 23. 24. 25 日 | こどもの日祭り 入場者延べ 146 人 | 12月 17. 18. 19 日 | 森のクリスマス 入場者延べ 354 人 |
| 7月 2. 3. 4 日 | 七夕祭り | 1月 28. 29. 30 日 | 節分スポットタイム |

| | | | |
|-------------------|--------------------------|---|---------------------------|
| | 入場者延べ 238 人 | | 入場者延べ 271 人 |
| 9 月 19 日 | 交通安全教室 入場者延べ 89 人 | 2 月 25. 26. 27 日 | 雛祭りスポットタイム 入場者延べ 279 人 |
| 10 月 22. 23. 24 日 | 育ちの森ハロウィン 入場者延べ 253 人 | 3 月 27. 28. 29. 31 日 | 森の卒業式 入場者延べ 290 人 |
| 11 月 12 日 | 虫歯予防イベント 入場者 61 人 | その他 5 月 17 日、11 月 11 日避難訓練 3 月 27 日 防犯訓練 | |

2. サロン

職員がコーディネーターとなり気軽な雰囲気の中で、交流や情報交換などを行った。ゲストを招いてのサロンや、テーマを決めてのサロンなど利用者のニーズを聴きながら実施した。

父親の育児参加を促すため、毎月 1～2 回「パパサロン」を設け、職員 1 名がコーディネ

ーターとなり、子どもとのふれあい遊びや木育玩具で遊びながらパパ同士の交流を促し、情報交換を行った。

- ・ベビーサロンやテーマサロンを実施。
- ・月 1～2 回パパサロンを実施。

2. 相 談 事 業

利用者からの相談に常時応じられる体制を整えた。開館時間内であれば随時対応し、電話、Fax、Eメールによる相談も対応。

職員は相談の初期対応を行い、専門的なかわりが必要な場合は職員間で協議し、時間をかけずに必要な支援が受けられるよう各機関につなげた。

他の利用者に気兼ねせずに相談を受けられるよう月曜午後に相談日に設定した。

相談件数 電話・メール・面談を含め……1,957 件

3. 保 育 事 業

一時預かりは病気や通院、リフレッシュなど、一時的に保育ができない場合の子どもを保育した。

また、講座に保育ルームを設け受講者のお子さんの保育を実施。時間や年齢等規定に合わない条件の場合は、他の団体や保育園を紹介するなど外部との連携を図り柔軟に対応した。保育ルームには、保育者の他に職員が 2 名入り保育・総括した。

1. 一時預かり

保育件数……196 件

平均利用時間……3.41 時間

2. 保育ルーム

(1) 保育数……延べ 352 人

(2) 開 設……58 回

4. 各種講座

育児ストレスや不安の軽減をはかるために、子どもの成長、発育などの知識を得たいという利用者のニーズに応じた計画をたてた。セミナー内で交流や意見交換ができるよう職員がコーディネートした。毎回のアンケート結果を次年度のセミナー企画の参考にするなどセミナーの充実を図った。

(1) 子育てセミナー（育児に必要な情報の提供や子どもとのかかわり方を学習する講座及び、親同士の交流を目的とする講座）

内 容 きょうだいの子育て、メモリーブック作り、サークルセミナー、救急法、フェルトアート、メモリアルブック作り、1 歳児セミナー、2 歳児セミナー、育休セミナー、保育園入園申込説明会、バースディボード、

開 催……年間 57 回

参加者数……延べ 423 名

(2) 親子セミナー（交流、不安解消、情報交換を主にするセミナー）

内 容 1. ベビママミニセミナー・ベビーマッサージ

開 催……年間 9 回

参加者数……延べ 146 名

内 容 2. ベビママセミナー4 回連続セミナー

1 回目 オリエンテーション・赤ちゃんとのふれあい遊び

2 回目 家庭内の事故予防と応急手当

3 回目 ベビーマッサージ

4 回目 修了式・交流会

開 催……4 回連続×5 クール

3 回連続×2 クール

参加者数……延べ 446 人

5. 情報発信

情報提供が重要と考え、ホームページ、支援センター便りで最新情報を提供した。地域のコミュニティFM局の番組で、子育てに関する情報をスタッフが企画し、パーソナリティを務め、子育ての現状を市民に情報提供した。

また、子育て情報を掲載した季刊情報誌を年 4 回発行し、新潟市内の保育園や公共施設などに 4000 部無料配布した。

- ・情報誌「Cocokara（ここから）」を年 4 回（4・7・10・1 月）編集発行。（B5 版、28 ページ 4000 部） 新潟市内保育園・公民館・公共施設・公共機関等を中心に配布
- ・HP を随時アップデート。……年間アクセス数 15,191 件
- ・図書コーナーの大人用雑誌、書籍の貸し出し。……年間 416 冊

6. 子育てサークル支援

1. 子育てサークル支援

当館の利用が困難な場合や、地域で仲間づくりがしたい方にとって子育てサークルが果たす役割は重要であると考え、子育てサークルの支援を実施。

- ・サークルリーダーを対象とした研修会を社会福祉協議会と協力して開催。（年 3 回）・・・参加人数 23 人
- ・サークル同士の交流を目的にサークル限定日を 2 回実施。

参加サークル……13 サークル

2. サークル出張・相談

希望のあったサークルにスタッフが出向き、手遊びやふれあい遊びなどを提供。サークルの活動を積極的にサポートするため、運営や人間関係、活動内容などの相談を受付対応。多面的なサービスを展開した。

希望サークル……8 サークル

※子育てサークルからの要望があり、遊びの講師や保育サポーターの情報提供を行った。

7. 地域との連携

1. 遊びの広場サポーター・保育サポーター研修を実施

遊びの広場、保育に関わるサポーターに対して研修等を実施。サポーター同士の交流なども含め、サポーターの人的充実を図るため実施。

保育サポーター研修・・・4 回

遊びの広場研修・・・・・・1 回

2. ボランティア育成

地域の人材を子育て支援に生かして活動できる場を設けた。

- ・手作りおもちゃやエプロンシアターの製作。 月 2～3 回
- ・季刊誌「Cocokara（ここから）」の 4 コマまんが。

学生ボランティアの受け入れと卒業論文の協力を行った。

3. 勉強会

子育て支援者のための勉強会を開催。

目的 より良い支援ができるように、支援者の資質向上を目的とする。また。支援者同士が共感し合いつながりを持ち、現場で実践できる内容の取得。

実施日 平成 25 年 6 月 8 日（土）14 時～16 時 30 分

会場 新津健康センター 会議室

講師 児童育成協会 こどもの城 保健研究開発部 橋本 聡子

センター事業運営部 有福 一昭

参加者数 24 人

4. 出前授業

依頼のあった小学校にスタッフが出向き授業を行った「命の大切さ」などの内容で行った。

- ・新潟市立新津第二小学校 2 年生、新潟市立青山小学校 3 年生

8. 次世代育成

1. 中学生の総合学習受け入れ

- ・新潟市立金津中学校総合学習、1 年生～3 年生 14 名受け入れ

※子どもとのふれあい遊び。

2. 大学、専門学校実習及び研修

- ・育ちの森見学後、子育て支援に関する講義を実施

見学実習 5 回

(国際子ども福祉カレッジ、新潟青陵大学、新潟大学、新潟医療福祉大学)

- ・新潟大学医学部保健学科看護専攻臨床実習 3 年生 78 名受け入れ

9. 協力事業

1. 秋葉区区づくり事業地域ですくすく子育てサポート

- ・小さな森の広場を中学校区 7 ヶ所で開催
- ・中学生とのふれあい体験
- ・ノーバディズ・パーフェクトセミナー

内 容 参加者同士で子育てに関すること等話合う、スタッフがファシリテーターとなる。

開 催……6 回連続×3 クール

参加者数……延べ 117 名

2. 各種委員

地域における子育て支援のコアをなす存在として、当館が蓄積してきた経験、知識、情報に関係機関および外部の団体と共有化し、各種事業の共催、講師、委員の派遣等により行政との協働・連携を推進した。

- ・各種委員
秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員
新潟市こども子育て会議委員など

その他

- ・視 察
県 内……1件
県 外……3件
新潟市内……4件
- ・県外避難子育て家庭孤立化防止事業実施
福ママリフレッシュセミナー
福ママサロン
支援者研修会
「子どもの行動やことばから見えてくる必要な支援」

事業実施のための体制

- | | | |
|-----------|----------------------------|------------|
| (1)開館時間 | 月～金曜日 | 9:00～16:00 |
| | 土曜日 | 9:00～12:00 |
| | ※メール相談の受付は随時 | |
| (2)職 員 | 館 長 | 1名 |
| | 副 館 長 | 1名 |
| | 受付事務 | 1名 |
| | 広報担当 | 1名 |
| | 保育士 | 1名 |
| | 看護師 | 1名 |
| | 臨時保育士 | 2名 |
| | パート職員 | 1名 |
| | パート用務員 | 1名 |
| (3)サポート職員 | 一時預かり・保育ルームの需要に合わせた保育サポーター | 適宜 |
| | あそびの広場サポート職員 | 適宜 |